

トショロ生誕30年特別企画「生みの親インタビュー一挙公開」

前号(図書館だより第63号)では、トショロの生みの親の齊藤真理恵さんから「トショロに関する質問」にお答えいただきました。今号では「図書館での思い出」「読書について」他、ご紹介します。



齊藤さんに聞いてみよう！ Vol.2(図書館での思い出・読書等について)

Q1 図書館での思い出を教えてください。

- ・「うさこちゃん」の本が好きすぎて、一度に同じ本を二冊借りたことがあります。
- ・「がんばれ!赤ちゃんラッコのラリーーオホーツク水族館のラッコの記録」の、ラッコの生態や飼育委員さんたちが試行錯誤しながら世話をしていく様子が好きで、館長さんに手紙を出しました。小学校低学年くらいだったと思います。実際のラッコのラリーーの写真などをいただきました。しかし、その後オホーツク水族館は閉鎖してしまい、館長さんも若くして亡くなったようです。
- ・「みつばち家族の大冒険 おどろくべきみつばちの生態」。これは子供の頃に読んだものを忘れられず、大人(生物学者)になってからタイトルや作者の名前をなんとか探し出して手紙を出しました。これは物語仕立てでミツバチの生態が説明されていて面白かったです。お返事もいただきました。

Q2 図書館での経験は、齊藤さんの人生に役立っていますか？図書館についての思いをお聞かせください。

私が子どもの頃はインターネットも発展途上でしたし、海外旅行もできなかったので、図書館でさまざまな本に出会えたことは、世界を広げるためにとりわけ幸運だったと思います。先日図書館にお伺いし、経験豊富な司書さんたちが工夫を凝らして本を選択・推薦していることに気付かされました。目利きたちの選んだ良質な本が図書館に置かれることは、子どものみならず、大人たちにも貴重な教育資源だと感じます。

「子どもの時に読んだあの本が忘れられないけれど題名が思い出せない！」ということもよくあります。「本の探偵団」さんにお世話になっています。<https://honraku.bbs.fc2.com/>

Q3 今のお仕事について教えてください。(選んだきっかけ、やりがい、大変なこと、目標や夢など)

きっかけ:進路を決めるに当たり、心惹かれたのは文学と科学でした。文系、理系、どちらに行こうかと考えていたとき、進化学がとても魅力的に映りました。進化学というのは自然のありようについても、その歴史に秘められた物語についても探求することができ、学際的な面白さを備えているように感じられたためです。

やりがい:面白い発見をした時です。

大変なこと:色々な人がいる研究チームを率いるのがなかなか大変です。

夢:研究者以外の人にも面白いと思ってもらえる発見をすること。全然違う仕事をしている人とコラボレーションすること(この企画もそうかもしれません)。あとは小説家になるのも夢です。これまでたくさん落選していますが、細々と続けていこうと思っています。

Q4 ノルウェーでの生活はいかがですか？

とてもものどかで、実家の周りに少し似ています。都会と自然が共存しているのが面白い点です。

Q5 好きな本や作家はありますか？

多和田葉子、吉村萬巻、太宰治・筒井康隆・草間彌生(小説家として。美術も好きですが。)

エミール・ゾラ、トリー・ヘイデンなど……。

Q6 大人になって仕事関係以外で本を読む機会はありますか？どんな本を読んでいますか？

目に入った面白そうなもので、電子書籍になっているものはなんでも読みます。何が多かな。小説の他には、地理や歴史、芸術や社会の本をよく読んでいる気がします。お金は有限なので、ちょっとセーブしないと、と思っています。楽しい時もありますが、あまり元気のない時に本を読むことも多いかもしれません。

袖ヶ浦市の子どもたちへメッセージをお願いします。

あまりえらそうなことも言えませんが、子どものころは学校で、夢や好きなこと、得意なことをきかれることが多かった記憶があります。しかし、私が生物学者になろうと決めたのは24歳くらいだったと思います。大人になってから言えることは、夢はまだはっきりしていなくてもいいし、周りの人と一緒になくてもいいし、たくさんあっても、どんどん変わっていてもいいということです。好奇心が赴くままに色々なものを吸収して、自分のペースで、素敵な大人になってほしいと思います。

Q7 齊藤さんにとっての「本」や「読書」とはどういうものですか？

知らない世界を冒険できる扉です。

前号から2号にわたって、トショロの生みの親でもあり、世界で幅広く活躍されている齊藤真理恵さんへのインタビューをご紹介しました。紹介しきれなかったインタビューも含めて、図書館のホームページにも掲載していますので是非ご覧ください。



インタビューは
こちらから